

杉並区の在住外国人の推移

区内の在住外国人数は、令和 8 (2026) 年 1 月現在 **25,275人(4.3%)** と、過去最高を更新し続けている。

平成28 (2016) 年 12,798人
↓ 10年で約 2 倍
令和 8 (2026) 年 25,275人
↑ 1 年間で+3,000人
令和 7 (2025) 年 22,289人

↓
10,000人の転入、7,000人の転出
⇒転入する10,000人に対して
アプローチする必要がある



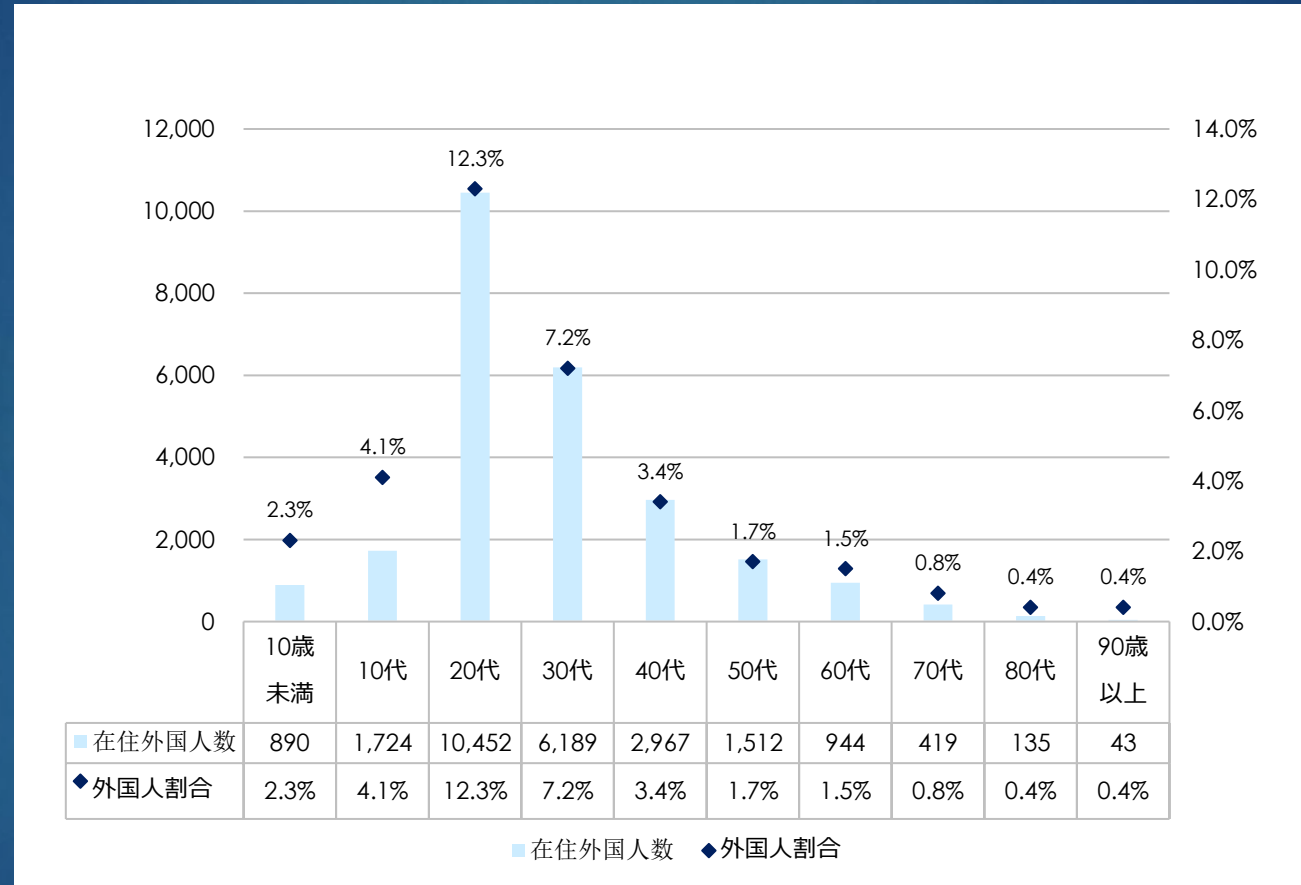
1. 数字から見る杉並区の現状

2

年齢別 外国籍住民人口と割合

令和8(2026)年1月

計25,275人(4.3%)



○20代は、人数・人口割合ともに高い。≒12%

○20～30代の人口（16,641人）は、全体の約66%を占める。

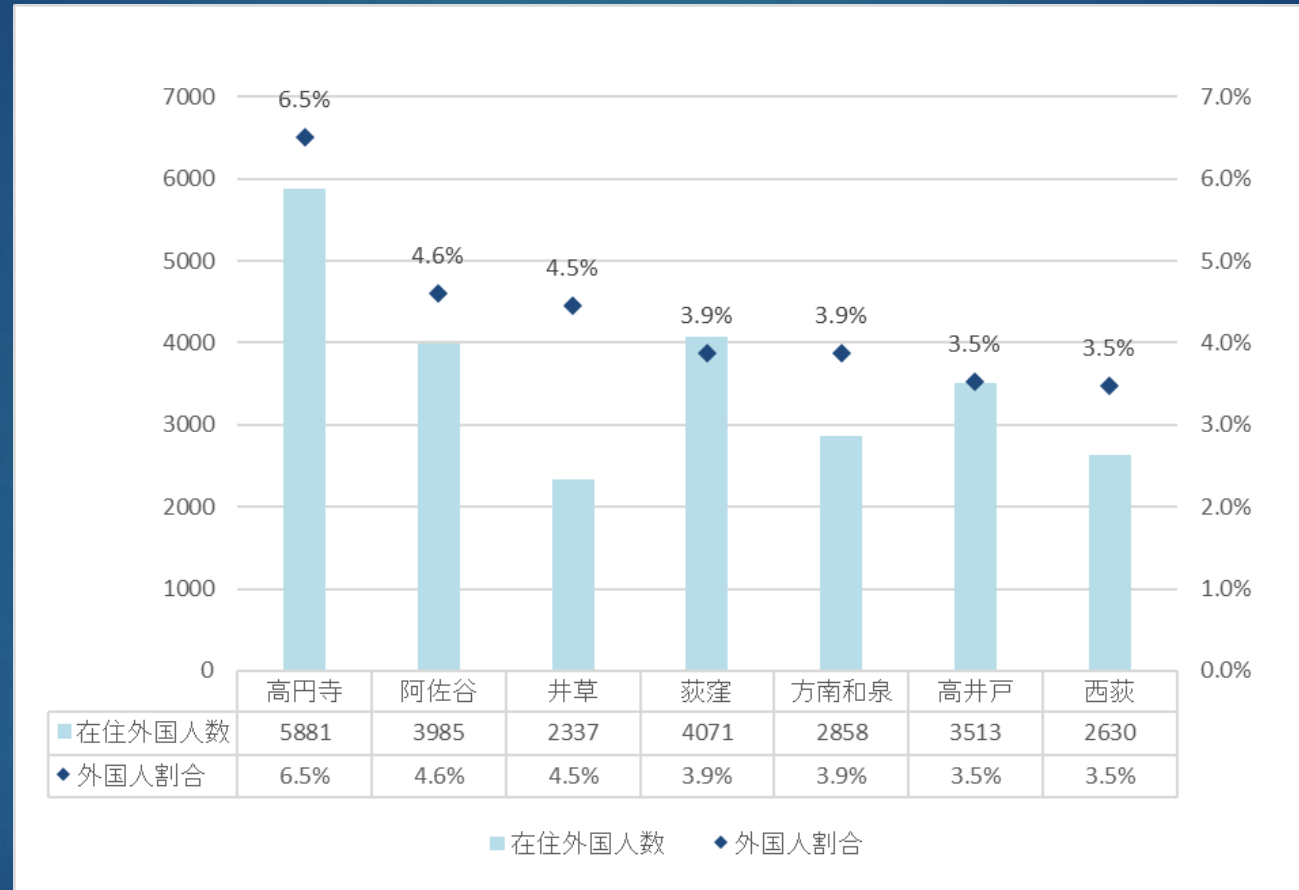
1. 数字から見る杉並区の現状

3

地域別 外国籍住民人口と割合

令和8(2026)年1月

計25,275人(4.3%)

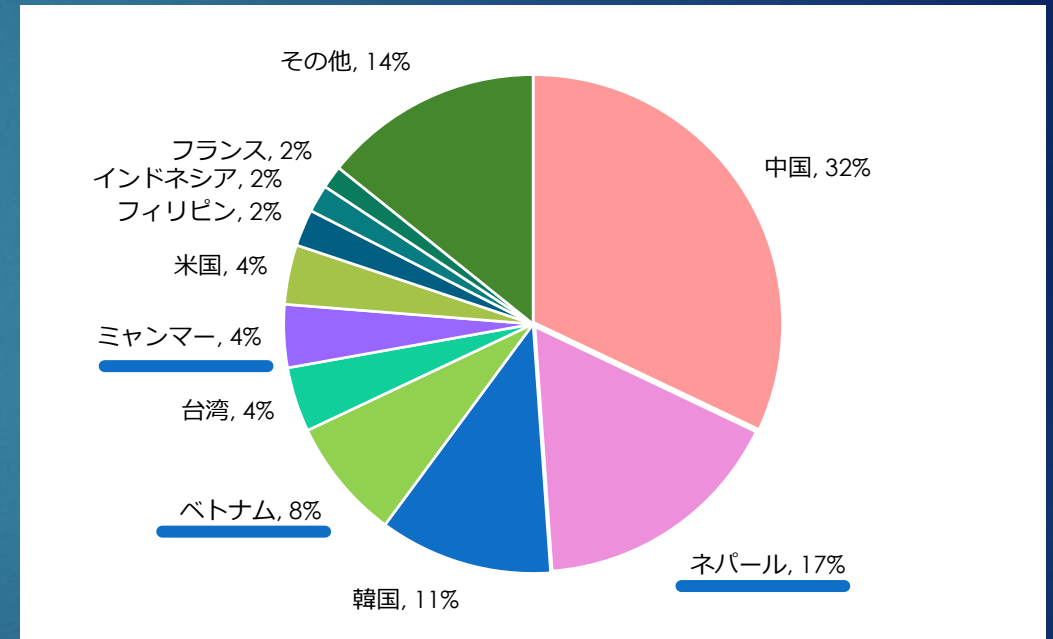
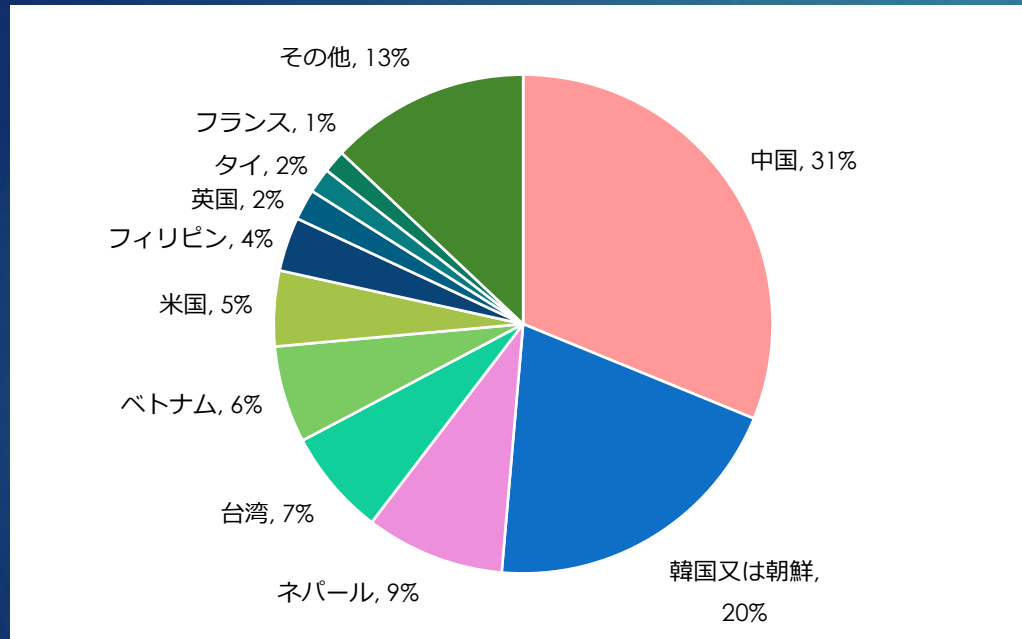


○高円寺地域は、人数・人口割合ともに高い。≒6%

➡多言語化による情報発信の優先順位が高い地域

国籍・地域別人口（10年前との比較）

平成28(2016)年1月 -----> 令和8(2026)年1月

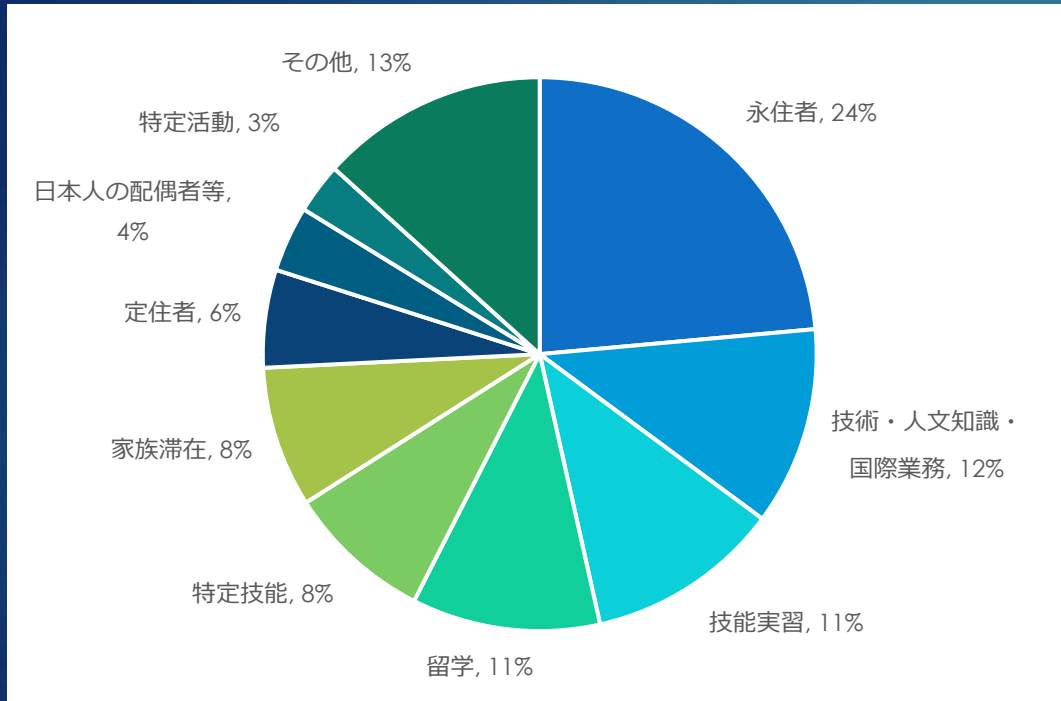


○10年間継続して中国が3割以上を占めている。

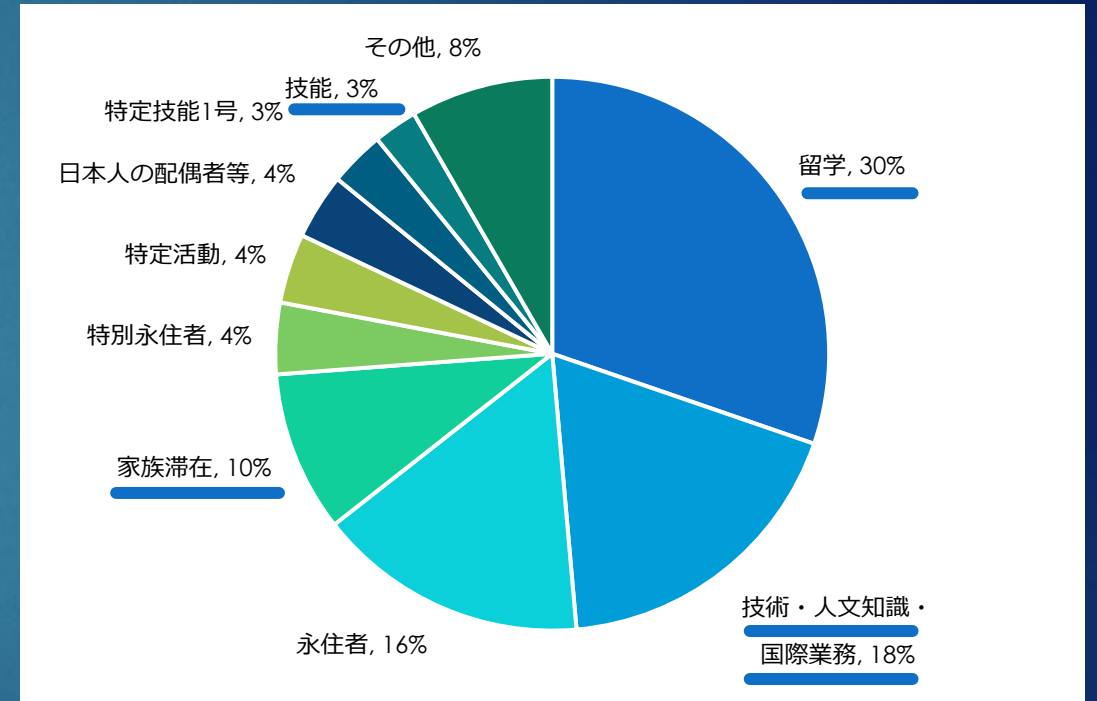
○ネパール、ベトナム、ミャンマーなどのアジア諸国が増加している。

在留資格別 国と杉並区の比較

【国】 令和7(2025)年7月



【杉並区】 令和8(2026)年1月



- 杉並区は、留学、技・人・国(専門知識や技術を有するホワイトカラー)が高い傾向にある。
- 留学(一部)、技・人・国、技能は、家族を呼び寄せることができる ➡中長期滞在(定住)志向
- 在住外国人数は増加傾向にあり、あわせて「家族滞在」も増えることが見込まれる。

1. 数字から見る杉並区の現状

6

在留資格	特 徴	本人と 社会との接点	行政情報の 伝えやすさ
1 留学 ※全体の30%	➤ 大学、日本語学校などの学生 ➤ 卒業後、技・人・国への移行も多い	学校	○
2 技術・人文知識・ 国際業務、技能 ※全体の18%	➤ 20～30代が多く、労働者として滞在 ➤ 日本語の習得状況はさまざま ➤ 杉並の「技能」はネパール人が多い	企業	△
3 <u>家族滞在、</u> ※全体の10% <u>日本人の配偶者等</u> ※全体の4%	➤ 日本語の習得率が低い傾向にある ➤ 日本の生活習慣や学校（受験等）に関する制度の理解不足 ➤ 生活に必要な情報が届きにくい ➤ 社会と接点が少なく孤立の可能性	—	×

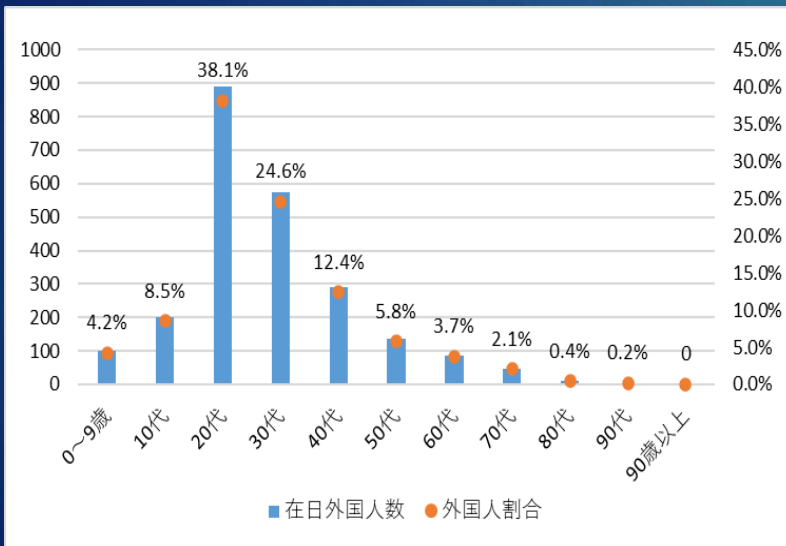
→ 多文化共生キーパーソンの育成 へ

1. 数字から見る杉並区の現状

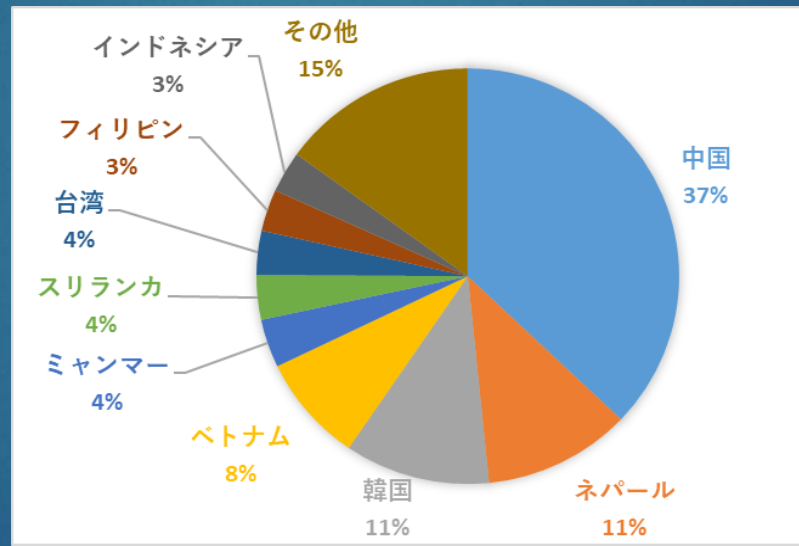
8

井草地域データ 令和8(2026)年1月

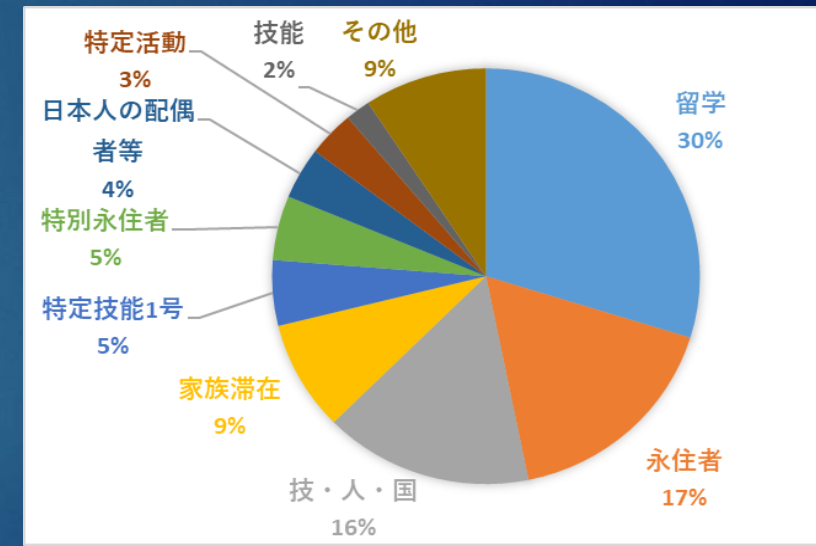
年齢別



国籍別



在留資格別



1. 数字から見る杉並区の現状

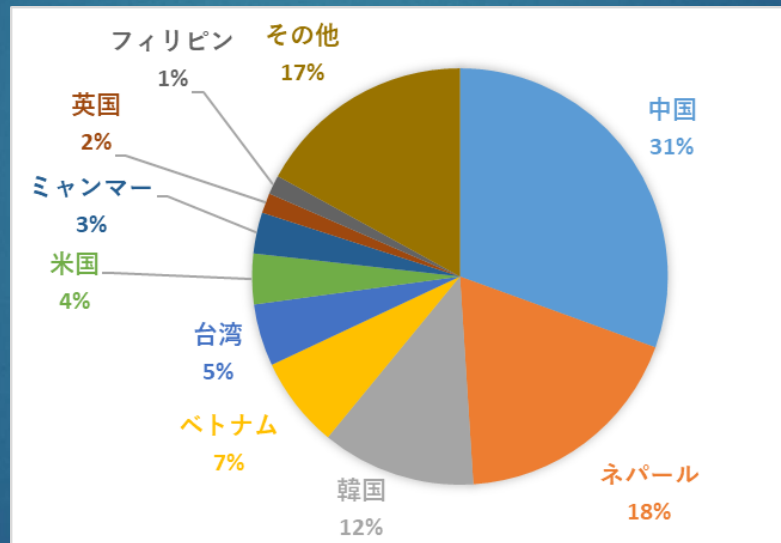
9

西荻地域データ 令和8(2026)年1月

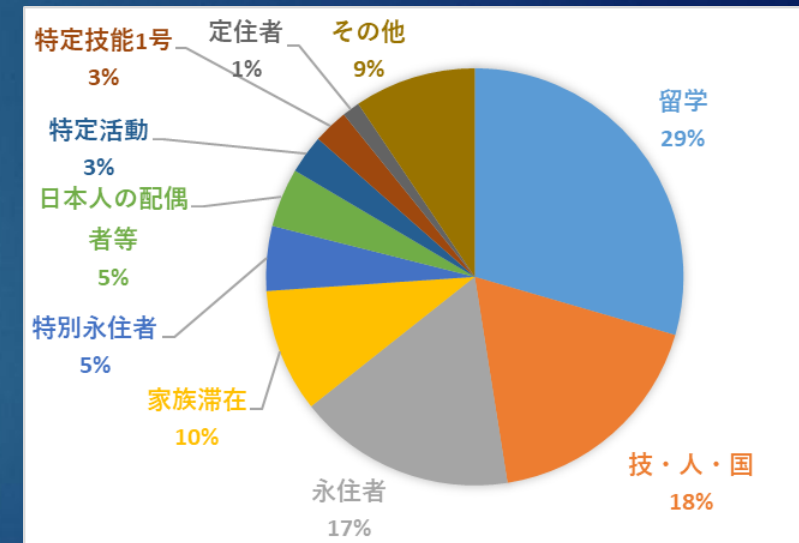
年齢別



国籍別



在留資格別

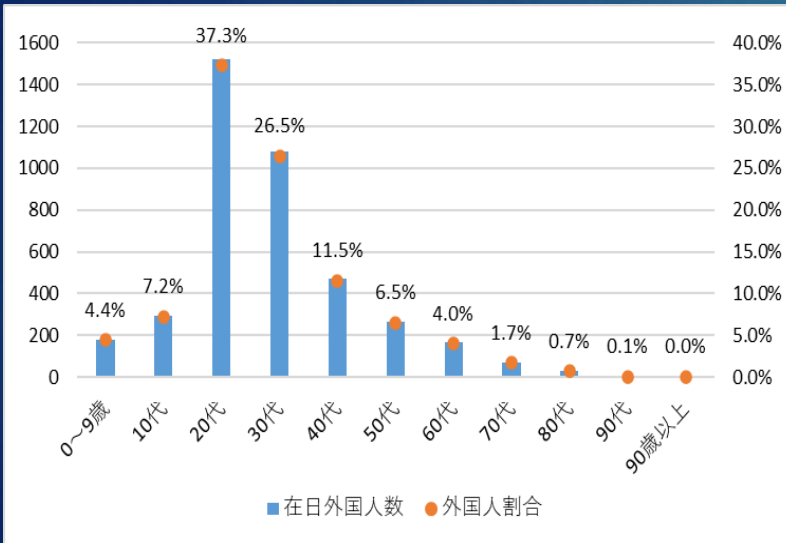


1. 数字から見る杉並区の現状

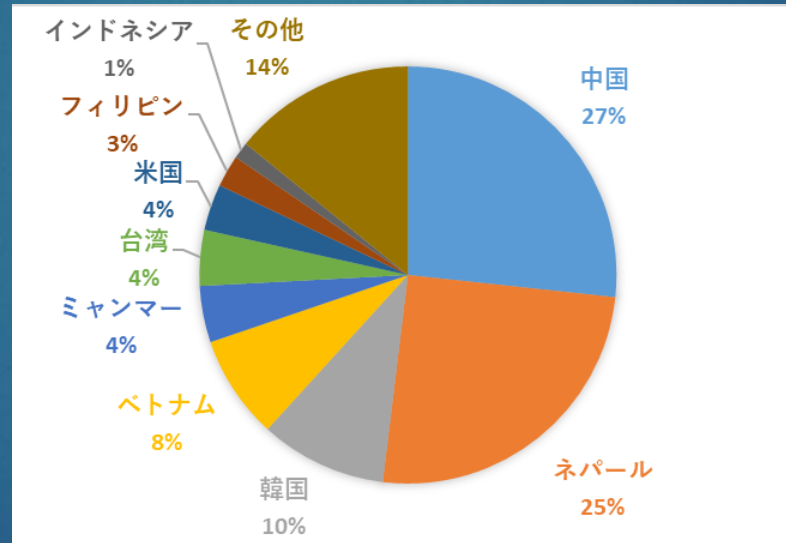
10

荻窪地域データ 令和8(2026)年1月

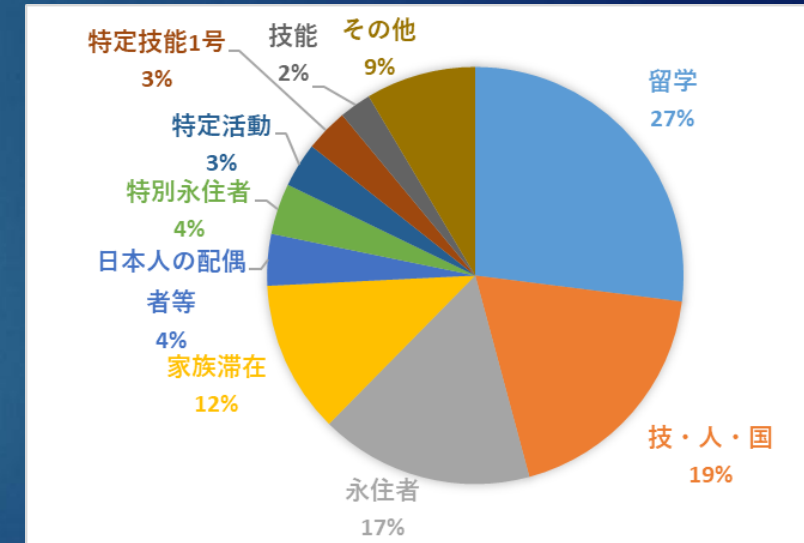
年齢別



国籍別



在留資格別

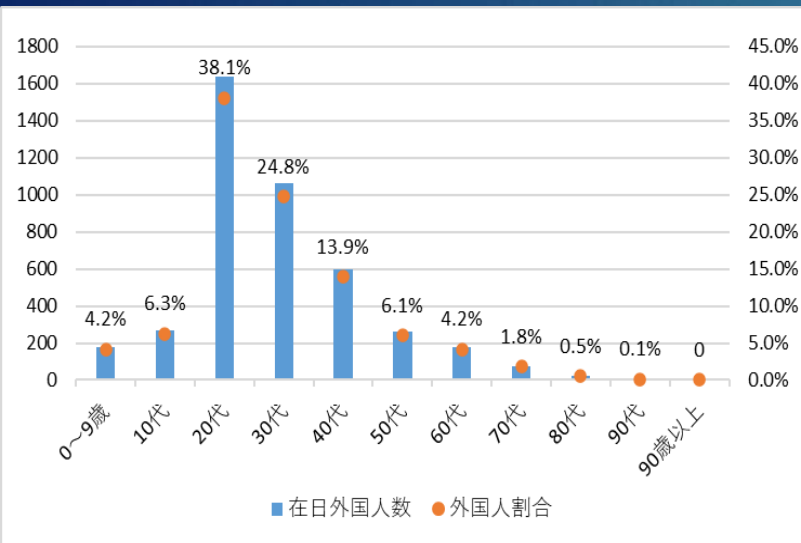


1. 数字から見る杉並区の現状

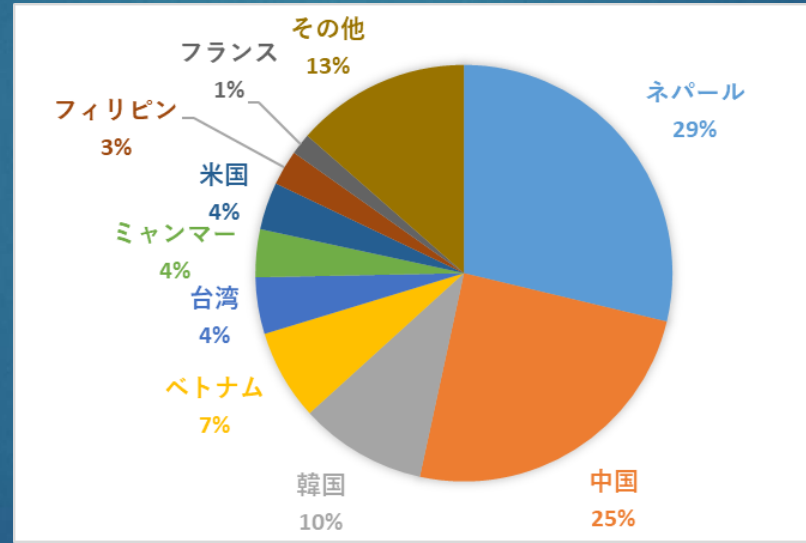
11

阿佐谷地域データ 令和8(2026)年1月

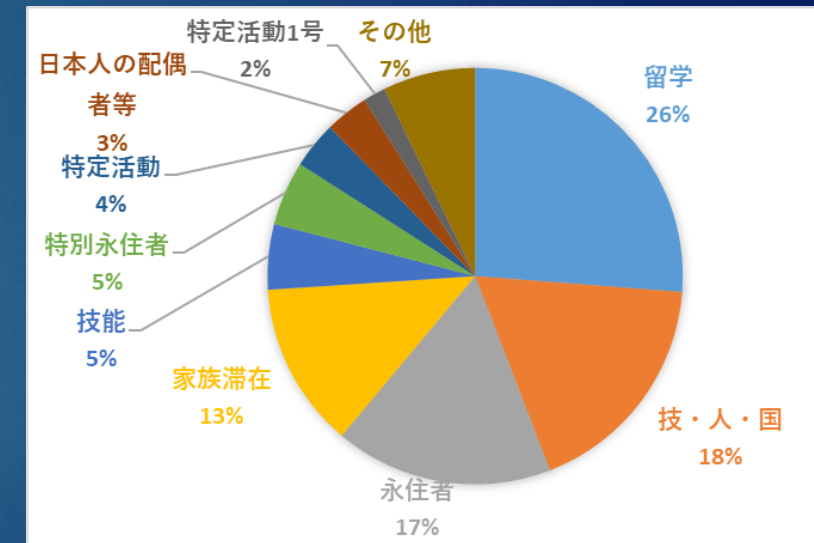
年齢別



国籍別



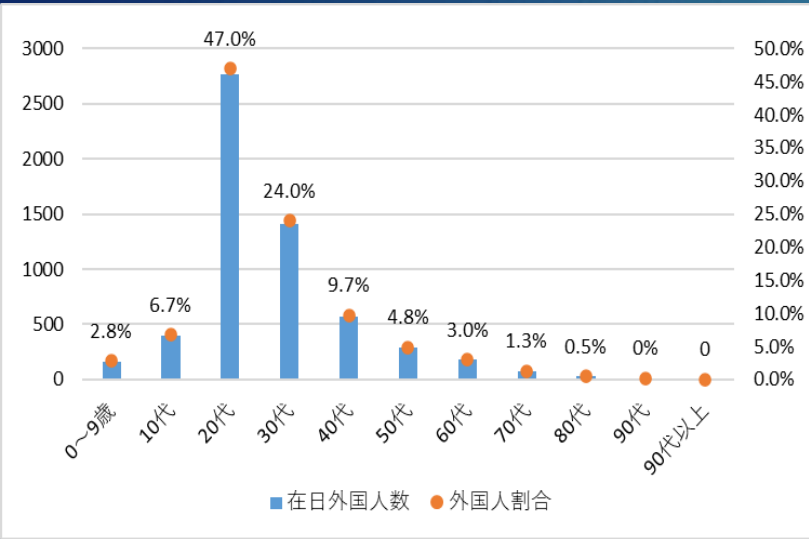
在留資格別



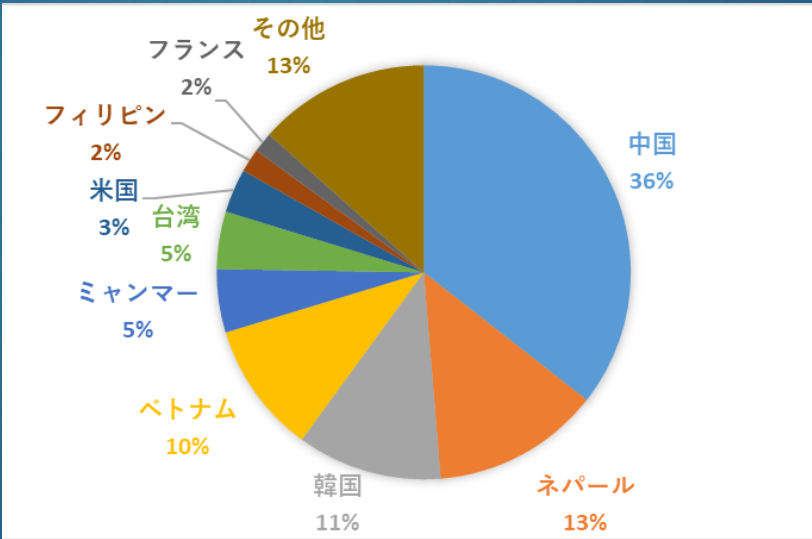
高円寺地域データ

令和8(2026)年1月

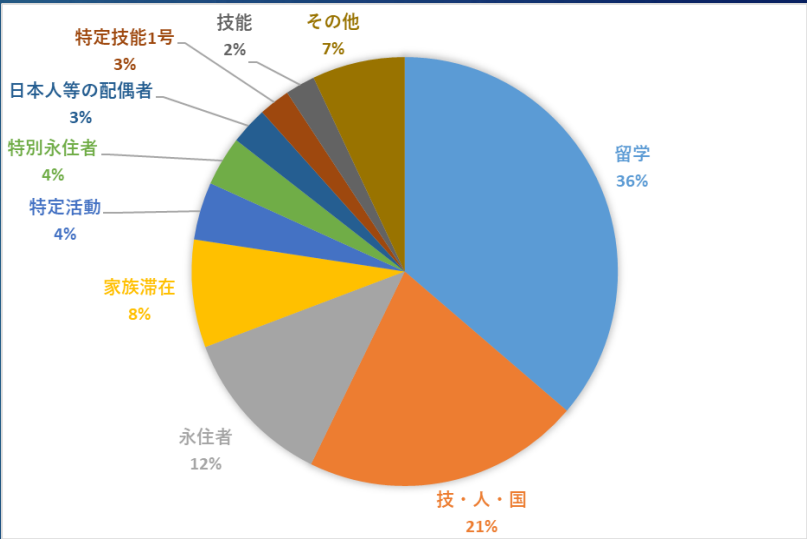
年齢別



国籍別

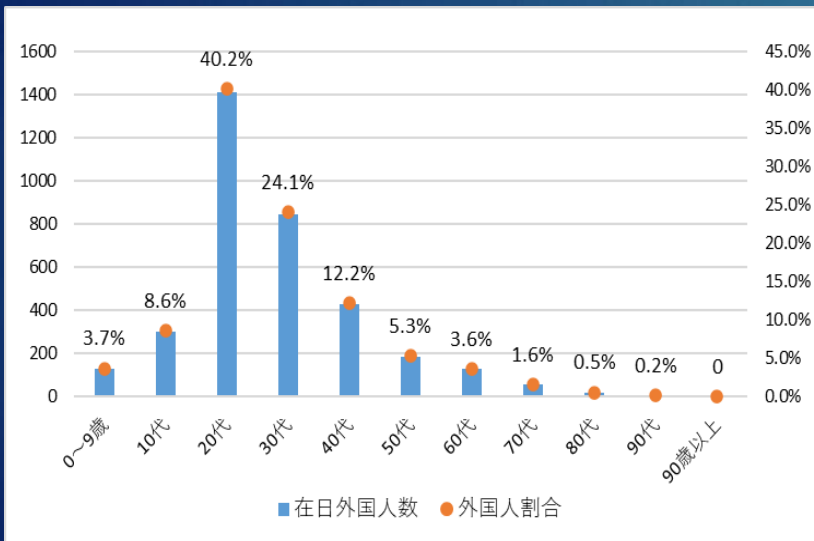


在留資格別

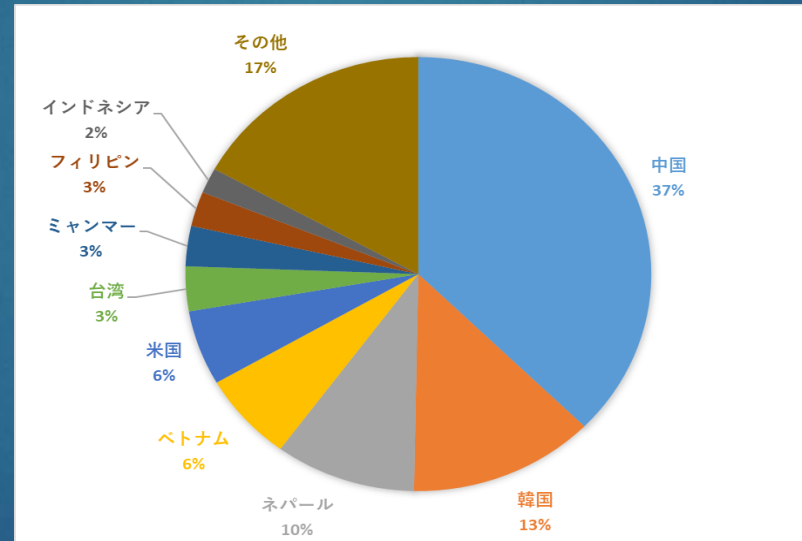


高井戸地域データ 令和8(2026)年1月

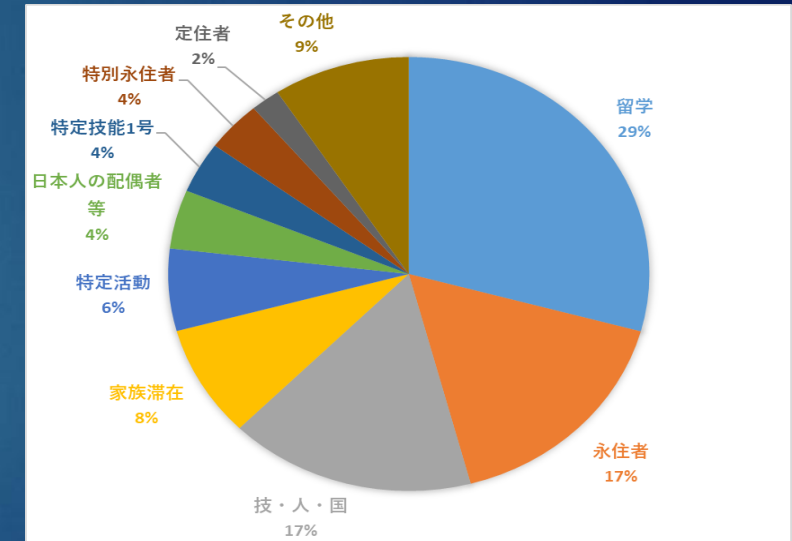
年齢別



国籍別



在留資格別

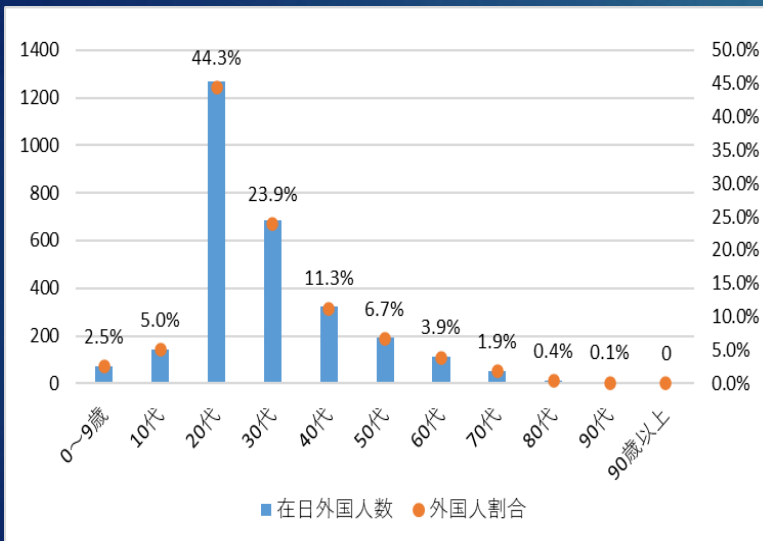


1. 数字から見る杉並区の現状

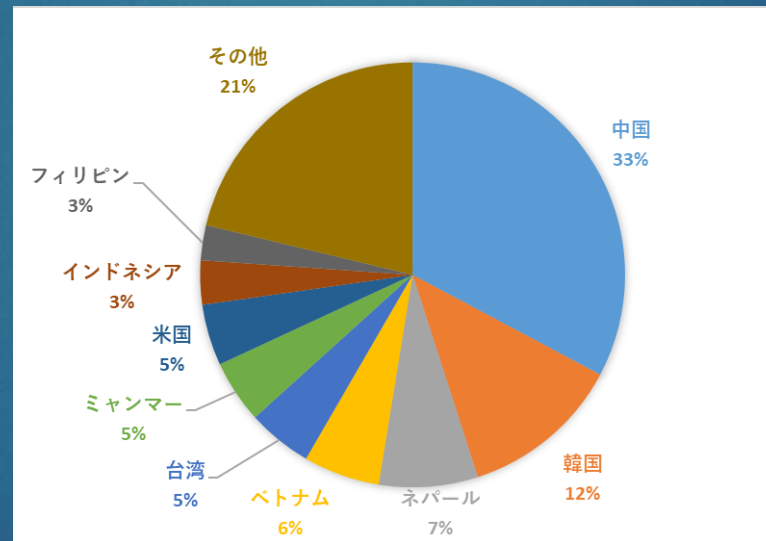
14

方南和泉地域データ 令和8(2026)年1月

年齢別



国籍別



在留資格別

